

●地域コミュニティ施策の基本指針の進捗状況について

基本指針項目		2016～2020年度		2021年度	2022年度～	参考資料1 令和4年度第1回 地域活動推進委員会資料
指針1. 地域特性尊重の原則	1. 地域コミュニティの実態把握と指針に基づく取り組みの推進	住民の参加度の低い地域に対する支援策の充実・検討(カルテPT)	指針4、5と連携して支援策の運用(マンションセミナーの開催)	地域の課題と情報の共有(地域コミュニティ支援アドバイザーの活用(支援者会議))	課題のある地域の抽出と地域への支援(地域コミュニティ支援アドバイザーの活用(支援者会議))	地域カルテ作成 地域組織基礎調査の実施
	2. 住民参加度の低い地域への対応					地域特性に応じた支援策の検討
	3. マンションコミュニティへの対応		マンションにおける地域活動の支援		神戸市マンション管理届出等制度の開始	
	4. 総合的・自律的運営の展開	総合的・自律的運営の制度設計(PT(全体会))	総合的・自律的運営の制度設計⇒屋上屋を重ねる新たな地域団体は設けず、ふれまち協の発展・育成		総合的・自律的運営に向けた具体的な検討	
指針2. 縦割りの行政の弊害解消と総合化	1. 助成手続きの共通化・簡略化、調整機能の強化	補助金手続きの共通化・簡略化(補助金PT)	補助金の整理・統合と交付金化の検討⇒関係部署と協議⇒統合補助金の制度設計	補助金の整理・統合と交付金化の検討⇒ふれまち助成の見直し	補助金申請の電子化	
	2. 補助金の総合化や交付金化の検討	補助金調整機能の強化(補助金PT)			補助金の整理・統合に向けた検討	
	3. 地域団体への協力依頼のルール化		自治会・管理組合へのチラシ配布をルール化			
指針3. 地域コミュニティの自律的な運営を支えるための体制充実、支援者間やNPO等との連携強化に向けたコーディネートの検討	1. 地域を担当する組織及び職員の充実	まちづくり関係職員研修				R4 eラーニングと集合研修を組み合わせた体系的な研修システムの構築
	2. プラットホーム機能強化	プラットフォーム機能の周知・発揮 協働と参画のプラットフォーム (神戸ソーシャルキャンパス) (地域協働PT)	プラットフォーム機能の周知・発揮(地域コミュニティ支援アドバイザーの活用(支援者会議)) (神戸ソーシャルブリッジ開設)	「社会貢献活動の交流拠点」(KIITO)の構築 withコロナ KOBE貢献応援プラットフォーム		R4 KOBE地域貢献応援プラットフォーム
	3. 自律的運営を支える地域活動拠点のあり方や、事務局機能向上への支援	地域福祉センターの利用促進(長期保全計画案作成) 地域団体の事務局機能	地域福祉センターの利用促進⇒長期保全計画策定 ふれまち協の会計事務支援	ふれまち協の会計事務や運営課題に関するアドバイザー派遣	・地域福祉センターの施設、利用、管理運営についての検討 ・地域活動の場づくりや支援策の検討 ・ふれまち助成におけるサテライト助成の拡充 空き家等を活用した地域活動モデル事業 地域福祉センターへのWi-Fi整備	R4 ふれまち協議会の事務負担軽減や運営課題解決に向けた検討委員会の設置・モデル実施等 自治組織やNPO法人が所有する集合施設の修繕等を支援
指針4. 地域課題の共有と合意形成への支援	1. GISを活用したデータ提供、協働による地域コミュニティのカルテづくり	地域コミュニティの実態把握(カルテPT)	モデル地区にてカルテ作成の実施(長田区:野田北部)	各地域コミュニティのカルテ作成支援		R4 (再掲) 地域カルテ作成 地域組織基礎調査の実施
	2. 地域内の合意形成及び将来像づくりへの支援		統計データのGISデータ化⇒基礎データ整備・公開			各地域コミュニティの課題共有及び活動支援
指針5. 地域活動の新たな担い手発掘及び育成	1. 地域人材育成策の充実・体系化、フォローアップ	育成講座相互の役割分担の体系化(担い手PT) (神戸ソーシャルキャンパス) (地域協働PT)	体系的な講座案内(ポータルサイト「マチカツ」を開設、地域活動の先進的な事例紹介) (神戸ソーシャルブリッジ開設)	神戸ソーシャルブリッジ運用		継続的に整備
	2. 担い手発掘・活動参加のきっかけづくり	各区において助成(地域提案型助成検討・実施)	各区において助成(ふれまち助成・伝統行事支援)		(再掲)「社会貢献活動の交流拠点」(KIITO)の構築	
		「協働と参画」の推進助成 ソーシャルビジネス推進助成			(再掲)ふれまち助成における子育てメニューの拡充	R4 地域課題に取り組むNPO等に対する補助金